

一般社団法人 子どもと家族のQOL研究センター  
2024年度秋季シンポジウム

# 小児がん・なおることと その後の支援 Part II： 歯科ケアと内分泌疾患の観点から

シンポジウム

「小児がん治療後の口腔健康：晩期合併症に備える歯科ケア」

河上 智美 (日本歯科大学小児歯科学講座 准教授)

「内分泌疾患から見えるCCSの診療の課題」

鹿島田 健一 (東京医科歯科大学小児科 准教授)

「晩期合併症と日々の生活」

雑賀 弥子 (小児がん経験者の会 Fellow Tomorrow)

司会：前田美穂・岩井艶子

(子どもと家族のQOL研究センター)



日時

2024. 9/8 (日) 14:00~16:00

会場

Zoomオンライン開催 (予約制)



一般社団法人 子どもと家族のQOL研究センター  
QOL Research Center for Children and Family

## 開催趣旨

今回で秋のシンポジウム（小児がんネット）も4回目になります。2021年に第1回目のシンポジウムで取り上げた「小児がん・なおることとその後の支援」の各論として二つの身体的晩期合併症をテーマにしました。内分泌的な合併症は比較的多いと言われていますし、歯科の合併症は気がつかれていない経験者の方もいらっしゃるのではないかと思います。皆さまのご参加をお待ちしています。

## シンポジスト



### 河上 智美

(日本歯科大学生命歯学部小児歯科学講座 准教授)

日本歯科大学歯学部卒業後、同大大学院歯学研究科博士課程修了。専攻は小児歯科学。日本医科大学小児科の非常勤講師として勤務している中で、小児がん治療による晩期合併症を経験することにより、その重要性に気づき研究・調査を開始するとともに、歯科での長期フォローアップを行っている。



### 鹿島田 健一

(国立大学法人東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学分野（小児科）准教授)

東京医科歯科大学医学部卒業後、同大大学院医学系研究科博士課程修了。専攻は小児科学。愛仁会太田総合病院小児科部長、東京北医療センター小児科部長、クイーンズランド大学分子生命科学研究所（IMB）研究員、東京医科歯科大学大学院発生発達病態学分野（小児科）助教、講師を経て、2022年より現職。

### 雑賀 弥子

(小児がん経験者の会 Fellow Tomorrow)

12歳と14歳で横紋筋肉腫を経験。治療のため1年と半年入院し、化学療法や放射線治療などの治療を受ける。完治後は20歳頃から晩期合併症の治療を開始し、現在も継続している。私生活では会社員として働きながら、小児がん経験者の会 Fellow Tomorrowの活動に参加。Fellow Tomorrowでは、小児がん経験者間で悩み相談や情報共有を行うための交流会の開催や、専門家による勉強会を実施しており、その運営支援に携わっている。



## 参加登録

対象 : 小児がん経験者やご家族、  
小児がん経験者を応援する医療者・教師・心理職・保育士・学生の皆さん

会場 : Zoom (定員 先着100名)

登録期間 : 2024/8/6 (火) ~ 9/4 (水) (予約制)

登録方法 : 右記QRコードからお申込みの上、参加費をお振込みください

参加費 : 3,000円 (返金不可) (小児がん経験者のご家族は無料です)

参加費振込先 : 三菱UFJ銀行本郷支店 普通預金 0309933

一般社団法人子どもと家族のQOL研究センター 代表理事 上別府圭子

※申込みおよび参加費の振込をもって参加登録とさせていただきます

※万が一、キャンセルなさる場合は、かならずご一報ください

※ご寄付も歓迎します。小児がん啓発事業に活用させていただきます

※登録確認後、9月6日 (金) 前後にZoom用URLをお知らせします

